

学園だより

発行 学校法人

ノートルダム清心学園
清心中学校
清心女子高等学校
倉敷市二子1200
☎701-0195
TEL(086)462-1661
FAX(086)463-0223
URL <http://www.nd-seishin.ac.jp>

編集 広報部



文化祭 光沢紙でモザイクアート (中2A)

厳しい暑さがようやく和らぎ、朝夕、秋の訪れを感じるようになってきました。
2学期初めの暑い盛りに行いました学園文化祭に際し、バザー、物品販売で大変お世話になり、ありがとうございました。文化祭は、生徒会が中心になって企画、運営に当たり、全校で発表する行事ですが、保護者、卒業生をはじめ、大変多くの方々が来校され、生徒たちの学習の成果発表、独自のオリジナル企画等をご覧いただき、達成感の得られた学園祭になったと思います。ありがとうございました。

本校のユネスコ・スクールとしての活動の一つで、現在最も力を入れている活動は、2014年秋に岡山市で開催されるユネスコスクール世界大会へ向けての準備です。過去のもですが、2008年度に行われた「7カ国高校生国際会議宣言」では、笑顔であいさつすること、心から「ありがとう」を言うこと、学んだことを伝え広げることが決められたようです。文化の異なる国から集まり、初めて出会った高校生たちが、互いを知ることから始めて、話し合いを通して大切な意見を限られた日程

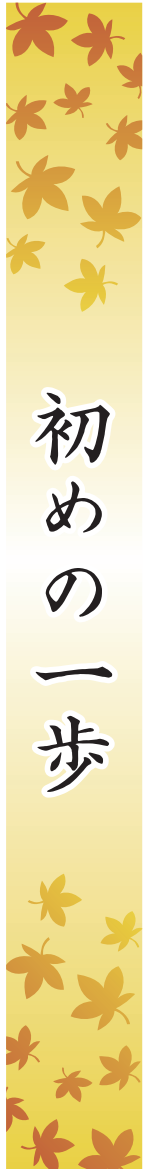


文化祭恒例の階段アート (美術部)



芸術鑑賞 ゴスペルの様子

の中でまとめて発表するということとは大変な作業に違いありません。急速にグローバル化されていく国際社会の中で、異なる文化との共存、国際協力はいうまでもなく、特に、自然や環境問題、人間や社会の問題、自由貿易などの課題について、共通の倫理観、価値観を確認し、話し合うことが大切です。しかし、それには多大な時間とエネルギーを要します。生徒たちが始めている活動は、初めの一步ですが、忍耐強く継続し、相互に相手を尊敬し受け入れ、共存していく道を模索し育んでいくことを願っています。



校長 Sr. 小谷 恭子

生徒会長あいさつ



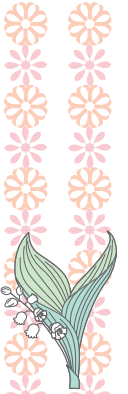
高校生徒会長
平田 祐美

少し肌寒くなり、台風の頻繁な訪れが季節の変わり目を感じさせてくれる今日この頃、文化祭も無事終わり、生徒会もようやく落ち着きを取り戻し始めました。時に文化祭のにぎやかさを思い出すことがあります。生徒の皆さんの澁刺とした笑顔や声。みなさんのパワーで素敵な文化祭になりました。ありがとうございました。残り任期半分となりましたが立会演説会、送別会に向けて生徒会一同、頭を捻っていかうと思えます。

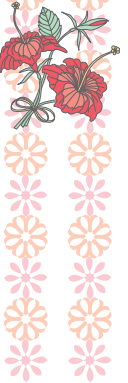


中学生徒会長
霜山 菜都乃

本年度、中学までしこ生徒会会長を務めさせていただきました霜山菜都乃です。みなさんから信頼される生徒会を作っていくために、広報活動などを積極的にやりたいと思います。また、生徒会メンバーを「縁の下力持ち」として支えられるよう努力します。生徒会は、生徒のみなさんの参加とご意見が必要だと思っています。一年間、精一杯頑張ってください。みなさんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



研修旅行



高1 蒜山研修

高1E 大森 文恵

北海道歴史文化コース

高2C 國安 沙貴



羊ヶ丘展望台にて

今回の研修旅行で、私はアイヌの文化と北海道の歴史のつながりを感じると共に、アイヌ民族への差別がどれだけひどいものだったかを、再度認識しました。またムックリ演奏やアイヌ伝統舞踊、伝統料理を体験させていただき、価値あるアイヌ文化を守り続けなければならぬと強く思いました。そして、函館の夜景や朝市など、北海道の地形や文化に驚かされながら、楽しく学ぶことができました。

このように、岡山と違う環境に置かれ、様々なことを学び取ることができた4日間でした。この研修旅行に関わってくださった方々に感謝します。

北海道自然環境コース

高2C 平野 七海

野生のシマリス、キツネの古巣、シカの足跡など普段は見られない自然を味わうことができました。

また旭岳、ニセコのトレッキング、支笏湖周辺散策などでは一足早い山一面の紅葉や、北海道ならではの植物、透明度の高い湖を見ることができました。

洞爺湖では特定外来生物に指定されているウチダザリガニの防除をしました。人間の無責任な行動によって増えてしまったザリガニが湖の生態系に影響を及ぼしている現実を目の当たりにしました。

そして有珠山の火山噴火では当時の噴火がいかに人里に被害を与えたかを学びました。

道中お世話になったバスガイドさんをはじめ北海道の広大な土地、数多くの貴重な体験を通して自然の豊かさ、すばらしさを堪能できた4日間でした。



旭岳散策

沖縄戦争平和コース

高2B 和氣夢莉亜



辺野古「フェンスギャラリー」の前で

「なんて酷い」「何のために戦争なんて」「研修旅行の間中、思っていた。ガマに入った時は特に、悲しくて悲しくて、こんな狭くて暗い所で何日も怯えながら、と思うと、顔が下を向いてしまった。

これまで戦争については、「私達現代っ子が学んだって」という気持ちがあったが、現場に行くという話で聞いていたのとは全然違う。中でも高江で聞いた米軍のヘリパッド建設に反対している方のお話は、私の考えを大きく変えた。バスの中では、自分ができるとか考え続けていた。

「戦争平和」というコースの名前は、今や未来を平和にするため、過去の戦争という過ちを学び、二度と繰り返すことのないようにするという意味だと気付いた。戦争のことを知った私達は、未来のために、亡くなった方々や悲しみ続ける沖縄の方々の想いを胸に、行動し、伝えていきたいと思う。

沖縄自然環境コース

高2E 西村 真帆



慶佐次湾のヒルギ林

私は以前、沖縄を訪れたことがあります。この研修では今までと違う視点で沖縄の自然の素晴らしさを肌で感じ、自然の貴重さ、大切さを知りました。やんばるの夜の山を歩いたことは印象的でした。昼と夜の差も感じられ、珍しい生き物も観察できました。川ではカヤックで間近にヒルギ林を見て、瀬底島ではサンゴを観察し、多くのことを知りました。残念ながら台風の影響で後半の予定は変更されましたが、引率の先生や講師の先生など多くの人が尽力してくださったからこそ最後まで良い研修ができ、また沖縄に来たいと思えました。関わってくださった全ての人に感謝しています。



森林調査の様子

私は夏休みに蒜山研修に行きました。研修の目的は、長時間集中できる体力と精神力、さらに集団生活での協力する力をも身につけることでした。はじめは、様々な内容の講義を聞きました。また、大學生の卒論を聞くこともあり、聞き取ってメモするのがとても大変でした。私が一番協力し合えたと思ったことは、山道の急な斜面の中での樹木の測定です。体力的にも精神的にも厳しい中で、効率よく測定し、班で助け合うことができました。また、ご飯の用意や洗濯はすべて自分達でした。私はこの研修で、苦しい時でも助け合うことと集団生活での自分の役割を果たすことの大切さを学び、今後この経験を生かしていきたいと思えました。



修了証書授与

ホストファミリーと対面した日は、なんだかもたもたしていき、犬のように不安そうな表情をした生徒もおりましたが、翌日には元気いっぱい登校してきました。清心に入塾してから英語を学び、ネイティブの先生に親しんできたからなのでしょう。生徒達の適応能力のすばらしさに驚かされました。月曜日からのウィークデイの午前中は班に分かれての英語の勉強。午後からはさまざまなアクティビティがあり、世界遺産の国立公園やコアラの自然保護区にも行きました。

7月6日から15日間の日程でオーストラリアのブリスベンの語学学校を拠点にして、ホームステイ英語研修に行っていました。

中3学年主任 森 茂樹

オーストラリア研修

女子校がSSHになるといふこと

教頭 森 雅子

に感謝です。

今年も10月25日に「SSH研究成果発表会」翌26日に「集まれ！理系女子 第5回女子生徒による科学研究発表交流会」(307名参加)を開催しました。本校運営指導委員でもある鳥取大学佐野淳之先生、また東京女子医大富澤康子先生、大阪大学田島節子先生の講演、90名にのぼる清心生徒の発表、卒業生2人の講演、北は北海道から南は九州までの約120名の女子中高生の発表などの多彩な内容でした。関わってくださった皆様

指定校の中で女子校はわずか10校です。世界からは、日本の女性がさらに活躍することが期待されており、今年もジェンダーギャップ指数は世界で105位の低い位置にあります。女子校でSSHの活動を活発におこない、理系へ進む女子を支援することは社会的な意義をもつチャレンジであると考えています。SSHで育つ論理的な思考力やグローバルな視野そして根気よく最後までやり抜く力は、文系理系を問わず、より



Science English

English Department Matthew Davis

In June, we held our 5th annual SSH Scientific English Research Meeting. Second year students from the Life Science course who currently take a special course designated by our school, Jissen Eigo, participated in an open class. In this open class students showed their progress towards doing a full English debate in class by working with their team members to make rebuttals and summaries.



Students delivering and taking notes on attack speeches.

This year many teachers from inside and outside the prefecture, as well as from both English and Science backgrounds, came to watch our students debate on the topic of prenatal diagnosis exams. Students have continued to debate on this topic and we hope they feel the progress they have made over the past year.

当日、雨の天気予報にも関わらず、皆元気に登校し、それぞれの文化祭を楽しむことができました。高校一年生は、girls creativityというテーマに沿って、それぞれの趣向を凝らした展示を。高校二年生はgirls generationを題材に、個性溢れる演劇を。そして高校三年生は、模擬店で文化祭を華やかなものにしてくれました。フィナーレでは今年初めて行った、男装コンテストの結果発表や、ジェット風船の打ち上げで、大いに盛り上がる事ができ、思い出に残る行事となりました。



高校生徒会副会長 橋本 総子

高校文化祭



発表に対して質疑応答する様子

元気に、より心豊かに社会に貢献する女子の「生きる力」になってくれるものと期待しています。



前中学生徒会副会長 長塚 文香

中学文化祭

私たち中学までしこ生徒会は、4月から校内文化祭や文化祭当日の企画について準備を進めました。みんなに楽しんでもらえる企画を考えることは大変でしたが、やりがいがありました。文化祭当日のゲームには、生徒だけではなく、一般の方も参加してくださいました。自分たちで企画し、運営していくことは大変でしたが、私たちにとって貴重な経験となりました。多くの方々文化祭を楽しんでいただけ嬉しく思います。

平成25年度文化祭 後援会模擬店・寄贈品販売収支報告書			
種別	売上(円)	諸経費(円)	収益(円)
模擬店	1,013,465	726,848	1,019,007
寄贈品販売	732,390		
合計	1,745,855	726,848	1,019,007

※後援会の文化祭収益の用途は、平成26年1月に開催される「後援会後期委員会」にて協議・決定される予定です。(昨年度は、「校舎改修整備等助成資金及びクリスマス献金の一部」として寄付していただきました。) ※同窓会模擬店・バザーの収益は、マリア・ジュリー奨学金として500,000円寄附していただきました。

中1郷土学習報告

中1学年主任 坂戸 宣房

すがすがしい秋晴れの中、中1は閑谷学校を訪れました。学校を出発して1時間ちよつとで閑谷学校へ到着をしました。到着してすぐに所長さんのお話を聞き、午前中は論語の講義を講堂で受けました。

慣れない正座に苦しむ様子もありましたが、「子曰く…」と元氣な声で頑張っていました。最初のころはなかなか大きな声が出ず、何度もやり直していましたが、最後のところは全員で大きな声が出ていました。

昼食をとり、午後は楽しみにしていた備前焼体験です。講師の方の説明をよく聞き、湯飲みや器などみんな思い思いの作品を仕上げていきました。初めての人も多く、戸惑いながらも最後まで頑張っていました。出来上がってくる一ヶ月後が非常に楽しみです。

このように、普段体験することができない充実した一日となりました。

中2林間学校

中2学年主任 松本 浩和

中2は1泊2日の日程で蒜山へ林間学校に出かけました。天気が心配されましたが、飯炊炊さん、象山登山、秋の里山散策を予定通り実施することができました。

特に生徒が楽しみにしていた飯炊炊さんでは、カレーライスを煙と格闘しながら班ごとに協力し上手に作り上げました。自分たちで作ったご飯は、忘れられない味となったことでしょう。

2日目の登山、里山散策では、蒜山エコツーリズムの先生方の詳しい説明のおかげで、自然を十分に体感することができました。2日間の林間学校を通して学校では味わえない貴重な経験をすることができました。



飯盒炊さんの様子

中3広島平和学習

中3学年主任 森 茂樹

十月四日、中三は広島市の平和記念公園に、バス三台に分乗して向かいました。はじめに「原爆の子の像」の前で祈りのつどいをしてから原爆資料館の見学、原爆ドームや数々の慰霊碑を巡りました。



原爆資料館見学

前日の集会で、原子爆弾が炸裂したとき、その下にいた原爆被害者の会の小野田久子さんの講演を聞きました。広島市民の頭上で炸裂した原子爆弾は、地上にあるすべての物を爆風でなぎ倒し、数千度の高熱で焼き尽くし、放射能の灰で覆いました。数々の資料や史料を見ながら、言葉では言い尽くせない無差別爆撃の悲惨なさま、核を兵器として使用した戦争の悲惨さを学ぶことができました。

校外活動実績

SSH(理系)

- ・中国四国地区生物系三学会 優秀
- ・プレゼンテーション賞 『オオイタサンシヨウウオの人工授精』
- 高3E 森下 瑤子
- 高1E 石田 有沙
- ・中国四国地区生物系三学会 優秀
- ・プレゼンテーション賞 『オオイタサンシヨウウオで配偶行動を誘発』
- 高2E 田中 美世
- 高2E 伊藤 頌子
- ・中国四国地区生物系三学会 優秀

- ・プレゼンテーション賞 『花酵母のアルコール発酵能』
- 高3E 齋藤 恵
- 澤田 春那
- 高2E 大内田裕美
- 秋山 璃彩
- 橋本 慧
- ・中国四国地区生物系三学会 優秀
- ・プレゼンテーション賞 『シタ植物の組織培養』
- 高3E 杉野 沙貴
- 田中 美典
- 高2E 伊藤 頌子
- 高2E 芝吹 真美
- 平井 優里
- 佐々木さくら
- 山本 凛
- ・第77回日本植物学会大会 高校生ポスター賞 優秀賞 『植物就眠運動自動記憶システムの開発』
- 高2E 伊藤 頌子
- ・第84回日本動物学会 奨励賞 『オオイタサンシヨウウオで配偶行動を誘発』
- 高2E 田中 美世
- 高2E 伊藤 頌子
- ・運動系
- ・H25年度倉敷市内総合体育大会 バレーボール部 第1位
- ・H25年度備中支部高校総体 テニス競技 第1位
- ・第51回岡山県中学校総体 テニス競技 第3位
- ・H25年度備中支部高校総体 水泳の部 女子総合1位
- ・第41回岡山県高校水泳競技大会 女子800m自由形第2位
- 高2C 森下 加菜
- 女子2000mバタフライ第2位
- 高1C 中島 優海
- ・H25年度岡山県中学生弓道大会 団体2位 (中3A 池田すきな)
- 池田 彩乃
- ・中3C 小林 由衣
- ・団体3位 (中2A 中田 純白)
- ・文化系
- ・岡山県高校生美術コンクール 金賞
- 高2B 有松 聖華
- 高2D 金高 千紋
- 高2C 荒金はづき
- 高2E 森 圭子
- ・第37回全国高校囲碁選手権大会岡山県大会 個人2位
- 高2C 伊藤みのり
- ・団体2位 (高2C 伊藤みのり)
- 高2D 恋河内桃香
- 高2D 柳 茉友子
- ・第158回県下小中学校硬筆習字展覧会 金賞
- 中2A 松岡 里奈
- 中2B 伊藤 泉
- 中1B 嶋田 朋夏
- 中2C 島田 晴華
- 中2C 松尾 飛那
- 中1C 堤 咲里菜
- 中3B 高野希良々
- 中3B 米田 美樹
- 中2C 大崎 絢加
- 中1C 川島 夕夏
- ・第35回「少年の主張」岡山県大会 優良賞
- 中2C 西森美智佳
- ・英語関連
- ・第19回吉備国際大学高校生スピーチコンテスト 第1位
- 高3C 福島 綾菜
- ・亜細亜大学高校生スピーチコンテスト 特別賞
- 高3C 福島 綾菜
- ・その他
- ・赤い羽根募金 ボランティア実践校 優秀賞